

南関東防衛



南関東防衛局広報誌

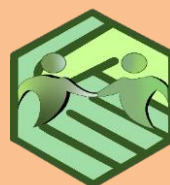
令和6年
43号



大崎公園（逗子市）から見た富士山と江の島

CONTENTS

- 1 令和6年版防衛白書の説明
- 2 第43回防衛問題セミナーの開催
- 3 在日米軍従業員永年勤続者表彰
- 4 令和6年度局長感謝状贈呈
- 5 池子住宅地区及び海軍補助施設の一部返還
キャンプ富士フレンドシップフェスティバル
- 6 若手職員による基地見学
(キャンプ座間・相模総合補給廠) (横須賀地方總監部)
- 7 在日米軍従業員募集



令和6年版防衛白書の説明

防衛白書は、できる限り多くの皆様に、わが国防衛の現状と課題及びその取組について周知を図ることを目的として、毎年刊行しています。

令和6年版防衛白書は、国家安全保障戦略などの三文書を踏まえ、増額した防衛予算を使って進めている「防衛力の抜本的強化」の進捗、すなわち、わが国の防衛力、抑止力が順調に強化されている様について1年間での変化を丁寧に記述しています。

令和6年は、自衛隊発足70周年であるとともに、令和6年版防衛白書は、初版から数えて刊行50回目の節目となります。

そのため、巻頭に、わが国を取り巻く情勢の変化と、それに対応できるよう歩みを進めてきた防衛省・自衛隊の70年の歴史を防衛白書とともに振り返る特集を設けました。

今回の表紙は、「刀鍛冶」をコンセプトとしています。防衛省・自衛隊は発足以来「刀を抜かないために」必死で刀を鍛えてきました。すなわち、抑止力となる刀を鍛え上げ、わが国に対する武力侵攻を未然に防いできました。自衛隊発足70周年の節目にあたり、国家安全保障戦略などを踏まえ、わが国の防衛力、抑止力が順調に強化されている様と、今後またゆまめ努力を続ける決意を表現しています。



【神奈川県知事への説明】



【静岡県知事への説明】

南関東防衛局では、地方公共団体や地域の皆様方に、防衛省の各種政策や自衛隊の諸活動について、ご理解を深めていただく一助となるよう、また、防衛省・自衛隊と地方公共団体等との連携強化を図るため、管轄する神奈川、静岡、山梨の各自衛隊地方協力本部や関係部隊等と協力し、管内107の地方公共団体等に防衛白書の説明を行っています。

第43回防衛問題セミナーの開催



令和6年11月18日(月)、横浜市民文化会館関内ホールにおいて「第43回防衛問題セミナー」を開催しました。

当日会場には、定員250名のところ、233名の方に御来場いただきました。

はじめに、本セミナー主催者の末富南関東防衛局長から開会の挨拶を行い、今回のセミナーは2部構成で実施しました。

第1部では、防衛省整備計画局の中野憲幸防衛計画課長が「国家安全保障戦略、国家防衛戦略、防衛力整備計画」と題して、戦略3文書に基づく防衛力の抜本的強化の必要性和目的について講演しました。



【第1部講師：中野憲幸防衛計画課長】

第2部では、陸上自衛隊第34普通科連隊長兜智之1等陸佐が、「自衛隊の災害派遣活動」と題して、部隊活動を理解していただくための一助として、主に災害派遣の現場での自衛官の活動に焦点を当て、分かりやすく講演しました。

本セミナーを聴講された方からは、「防衛計画に関する説明は、具体的で非常に分かりやすかった。」「詳細な資料による説明が、とても良かった。」「今後の防衛戦略(予算増)に興味を持ちました。」



【第2部講師：兜智之第34普通科連隊長】

「災害派遣活動の実際の写真を多く用いたスライドで、当時の様子が想像しやすく、説明も分かりやすかった。」「災害派遣の手順・流れをよく理解できた。」「自衛隊との連絡を密とすることの重要性がよく理解できた。」「担任部隊長としての悩みが聞けて良かった。」などの声が多数寄せられました。

今後も、防衛政策や防衛省・自衛隊の活動について、国民皆様のご理解が得られるよう、様々なテーマで防衛問題セミナーを開催してまいります。

在日米軍従業員永年勤続者表彰

在日米軍従業員に対する永年勤続者表彰は、横須賀海軍施設、厚木海軍飛行場、キャンプ座間、相模総合補給廠、キャンプ富士等、南関東防衛局管内の在日米軍施設に勤務されている在日米軍従業員のうち、勤続期間が10年、20年、30年及び40年に達した方々の永年の功労を称えるため、毎年10月、日米共催で実施しているものです。

令和6年度は、横須賀地区において10月18日（金）に横須賀市文化会館、富士地区において10月25日（金）にキャンプ富士内のコミュニティクラブ、座間地区において10月29日（火）にキャンプ座間内の絆ホールの3地区において永年勤続者表彰式が開催されました。

表彰される従業員の方は、10年勤続者196名、20年勤続者206名、30年勤続者312名、40年勤続者96名の計810名の方々が受賞の栄に浴しました。



【キャンプ座間内 絆ホールでの式典の様子】

式典においては、来賓として神奈川県を初め、それぞれの地区において横須賀市、座間市、御殿場市を代表する方々にご臨席いただき、日米両国の国家吹奏に始まり、主催者挨拶として南関東防衛局長等ならびに各軍の司令官等が式辞を述べられました。引き続き、勤続期間に応じ、40年、30年、20年、10年ごとにそれぞれの代表者に表彰状と記念品の授与、来賓者からの祝辞や受賞者の代表者から挨拶が述べられ、厳粛な雰囲気の中で執り行われました。



【横須賀市文化会館での式典の様子】



【キャンプ富士内 コミュニティクラブでの式典の様子】

令和6年度局長感謝状贈呈

令和6年11月、南関東防衛局管内において防衛施設の安定的な使用等に貢献された方、団体及び装備品等の調達等に大きく寄与された企業に対して、局長感謝状が贈呈されました。当局からは、日頃のご尽力やご功績に深い感謝の意をお伝えし、感謝状を贈呈しました。

○本村相模原市長：11月5日（火）贈呈

本村賢太郎市長は、平成31年4月に相模原市長に就任され、以来、積極的に防衛施設と地域住民の融和を図り、米軍との透明性の確保及び友好関係の構築に努める等、防衛施設行政への御理解・御協力を賜り、長年に亘る、当局業務の円滑なる推進と相模総合補給廠、相模原住宅地区及びキャンプ座間にかかる諸問題の処理に多大な貢献をされました。



【左：末富局長 右：本村市長】

○桐ヶ谷逗子市長：11月15日（金）贈呈



【左：桐ヶ谷市長 右：末富局長】

桐ヶ谷寛市長は、平成30年12月に逗子市長に就任され、以来、米海軍との友好関係の構築に努めるとともに、池子住宅地区及び海軍補助施設における施設整備に御理解・御協力を賜り、長年に亘る、当局業務の円滑なる推進と池子住宅地区及び海軍補助施設にかかる諸問題の処理に多大な貢献をされました。

○東富士演習場4支所長：11月6日（水）贈呈

山本印野支所長、村松玉穂支所長、杉山高根支所長、芹沢原里支所長の4名は、東富士演習場の土地賃貸借契約について、地元代表者として毎年国との交渉に当たっており、強力なリーダーシップの下、地元側の意見を取りまとめ、円滑な契約締結と東富士演習場の安定的使用に多大な貢献をされました。



【前列：左から山本支所長、杉山支所長、末富局長、村松支所長、芹沢支所長】

○海洋電子工業株式会社：11月8日（金）贈呈



海洋電子工業(株)榎本代表取締役社長に、鷹尾調達部次長から局長感謝状の贈呈を行いました。贈呈後は、和やかな雰囲気の中、懇談も行われました。海洋電子工業(株)殿は、自衛隊発足以来長年にわたり、艦艇搭載用をはじめとする通信電子機器の維持整備及び製造に携わり、高品質かつ確実な契約の履行に尽力されるなど、我が国の防衛力整備及び南関東防衛局の任務遂行に大きく貢献されました。

【前列：左から鷹尾調達部次長、榎本社長、後列：左から前田装備管理官、立石技術部長、有山営業統括部長】

池子住宅地区及び海軍補助施設の一部返還

○逗葉地域医療センター・逗子市保健センターへの進入路（0.25ha）

令和6年11月29日（金）、末富局長は、逗子市役所に桐ヶ谷市長を訪ね、池子住宅地区及び海軍補助施設の一部（土地約0.25ha・囲障等の工作物）が11月30日付けで返還されることを伝えました。

桐ヶ谷市長からは、「念願であった返還について、本当に喜ばしい限り。1978年の第一運動公園横のマイクロ通信施設以来、46年ぶりであり、また、今年は市制施行70周年を迎え、この記念すべき年に実現できることは、大変意義のある返還である」旨コメントがありました。

当該返還地は、逗葉地域医療センター等への進入路として逗子市により共同使用されてきましたが、安定的な使用を確保するため、同市から返還申請があり、令和4年12月の日米合同委員会において返還を合意し、本年8月29日の同委員会において11月30日までの返還について合意していたものです。



桐ヶ谷市長（左）に返還の通知を手交する末富局長（右）



逗葉地域医療センター等への進入路

キャンプ富士フレンドシップフェスティバル

令和6年10月20日（日）、静岡県御殿場市のキャンプ富士において、「キャンプ富士フレンドシップフェスティバル2024」が開催されました。

当該イベントは、キャンプ富士の一部を一般開放し、地域住民との交流を図ることで、在日米軍及び米海兵隊への理解を深めることを目的としており、日本に居ながら外国の雰囲気を感じられるイベントとして人気を得ているものです。

当日は、多くの来場者があり、日米の装備品の展示、陸上自衛隊富士学校音楽隊等によるライブパフォーマンス、バラエティに富んだ美味しい料理などを楽しんでいました。

同時に、キャンプ富士司令官主催のレセプションも開催され、当局からも末富局長らが出席し、米海兵隊や地元自治体等との交流を深めました。



装備品の展示



イベントの様子

若手職員による基地見学

○キャンプ座間・相模総合補給廠

令和6年8月26日（月）にキャンプ座間及び相模総合補給廠において、日米同盟、防衛協力及び返還事案に関する見識を深めることを目的として、南関東防衛局の若手職員等を対象とした見学会が実施されました。

キャンプ座間では、所在する在日米陸軍司令部及び基地管理本部の概況説明を受けたほか、昭和期に作成された天皇陛下用の防空壕、キャスナーヘリポートの管制塔などを見学しました。

相模総合補給廠では、装備品や需品の管理体制、緊急時の迅速な輸送など施設の役割の重要性を学ぶことができました。



説明を受ける若手職員
（相模総合補給廠）



キャンプ座間にて集合写真

どちらも普段は立ち入ることができず、今回の見学会は若手職員にとって事務室で勤務しているだけでは経験できない貴重な学びを得ることができました。今回の経験を活かして、地方防衛局の役割である在日米軍と地域住民の円滑な橋渡しを担えるよう努めてまいります。

○横須賀地方総監部

令和6年8月30日（金）、横須賀基地において海上自衛隊の任務・役割を再認識し、理解を深めることを目的として、調達部所属の若手職員を中心としたメンバーで護衛艦研修および潜水艦研修が実施されました。

潜水艦研修では潜水艦の役割の概要説明を受けたほか、実際に潜水艦内へ立ち入り潜水艦内の各種装備品や潜望鏡等を研修させていただいたことで、潜水艦の役割の重要性を学ぶことができました。



潜水艦研修



護衛艦研修

護衛艦研修では、護衛艦の艦橋、ミサイルといった装備品のみならず、実際に護衛艦内部へ立ち入り、生活区画など普段見ることが出来ない場所も研修させていただきました。

本研修においては、護衛艦や潜水艦の係留施設も同時に研修できたことから、改めて港湾整備の重要性を理解できたとともに、その役割の重要性も学ぶことができました。

部隊運用を支える自分自身の役割を再認識することができ、今回の研修を契機に自身の知識をより一層深め、防衛省職員として活躍できるよう、業務に邁進してまいります。

在日米軍従業員募集

在日米軍基地で働く!!



エルモでは、在日米軍基地で勤務する従業員の募集を行っています。興味のある方は、エルモホームページをご覧ください。下記の支部にお問い合わせください。

※求人情報提供メールサービスに登録すると、希望する求人情報がホームページに掲載される都度、お知らせメールが送信されますのでご利用ください。

エルモホーム
ページ

求人情報
本州・九州の基地



【X(旧Twitter)】

求人情報等の募集関連情報を定期的に発信しています。
ぜひ、フォローをお願いします。

アカウント名

「在日米軍従業員求人情報(エルモ) @LMO_recruit」

X(旧Twitter)



【窓口応募受付・お問い合わせ先】

エルモ横須賀支部管理課管理第一係

住所: 神奈川県横須賀市米が浜通一丁目6番地 村瀬ビル

電話: 046-828-6959

担当施設: 横須賀海軍施設、横浜ノース・ドック、池子住宅地区、鶴見貯油施設等

エルモ座間支部管理課

住所: 神奈川県座間市相武台一丁目46番1号

電話: 046-251-0667

担当施設: キャンプ座間、厚木海軍飛行場、相模総合補給廠、相模原住宅地区、キャンプ富士

<https://www.lmo.go.jp>

LMO

検索

南関東防衛局広報誌「南関防衛」第43号 令和6年12月発行

編集/発行 南関東防衛局広報誌企画委員会 (お問い合わせ) 045-211-7129 (委員会事務局)

〒231-0003 横浜市中区北仲通5-57 横浜第2合同庁舎内